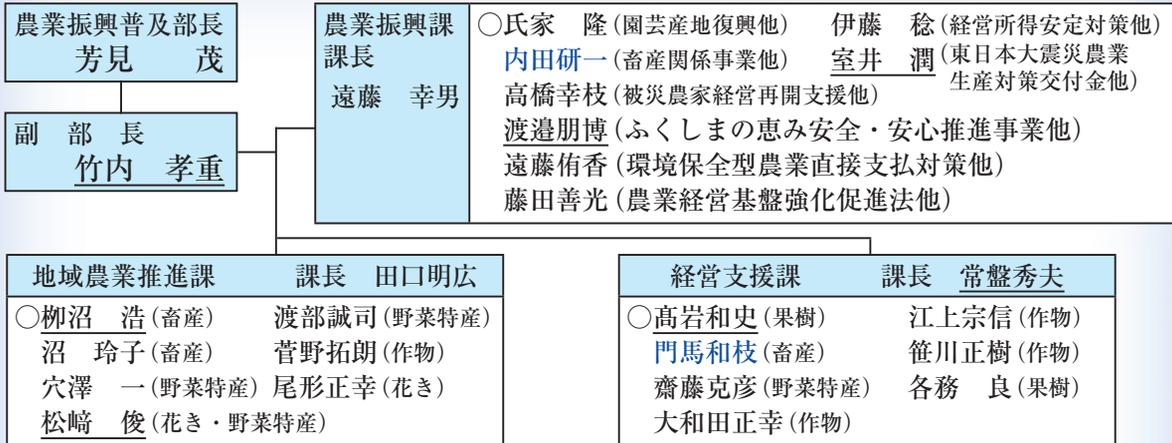


みどいのこだま

～ふくしまから はじめよう～

福島県相双農林事務所農業振興普及部
〒975-0031 南相馬市原町区錦町1-30
TEL (0244) 26-1149
FAX (0244) 26-1169
E-mail: shinkouhukyu.af06@pref.fukushima.lg.jp

平成26年度 農業振興普及部の活動体制



下線…転入…新規採用
青字…部内異動
○印…キャップ



写真後列…松崎 竹内 柳沼 渡邊
写真前列… 室井 常盤 高岩

平成26年度は、27名の体制で当地域の農業生産の復旧・復興に取り組んでまいります。
(竹内)

平成26年度園芸品目モニタリング体制について

当事務所では、関係団体・直売所等の協力をいただき、相馬地方で販売される野菜・果実などの安全性を確認するため、出荷前及び出荷期間中の緊急時環境放射線モニタリング検査を実施します。併せて、出荷制限等品目の解除可否検査を計画的に行いますので、御協力をお願いします。

なお、各市町にある「ふくしまの恵み安全対策協議会」等の園芸品目検査所（地方市場、直売所等）では簡易分析機器によるスクリーニング検査を随時受け付けていますので御利用ください。

① 緊急時モニタリング

野菜・果実等の主力品種等や25年度に出荷制限等を解除した品目など出荷物の安全性の確認

② 事前確認

避難指示解除準備区域（国の区域指定解除から1年以内の区域含む）の収穫可否判断

③ 解除可否確認

出荷等制限品目の解除可否確認

【緊急時モニタリング検査】



被災地区、被災農業者の営農再開について

東日本大震災や東京電力(株)福島第一原発事故等の影響により、農業生産を休止している農業者の営農再開を支援するため、福島県営農再開支援事業や東日本大震災農業生産対策交付金等（表参照）があります。相双農林事務所管内の営農再開に関する事業は平成 23～25 年度に 191 件、約 102 億円の実績となっています。平成 26 年度事業は 4 月末現在、96 件約 42 億円が予定されています。新規事業や事業メニューの拡充等もありますので、お気軽にご相談ください。

表 被災地区、被災農業者向け事業の一覧

事業名	事業内容	平成23～26年度実施状況 (相双管内)	事業費合計 (千円)
福島県営農再開支援事業 (H24～)	福島県の被災地域での営農再開に向けた様々な事業メニュー	H24 1市町村 1件 H25 8市町村 40件 H26 11市町村 38件	5,827 1,030,997 1,586,084
東日本大震災農業生産対策交付金	被害を受けた農業施設や営農用資機材の復旧等を支援	4市町村 78件	2,611,284
被災農家経営再開支援事業	経営再開に向けた復旧作業を行う農業者の組織する組合への支援	5市町村 12件	3,229,709
東日本大震災復興交付金	被災市町村が被災農業者へ農業用施設、農業用機械の導入を支援	H24 4市町村 9件 H25 4市町村 4件 H26 3市町村 7件	2,010,352 223,163 1,537,776
園芸産地等復興支援事業 (H24) 園芸産地復興支援対策事業 (H25)	園芸産地の復興に向けた園芸用施設、資材等の整備支援	H24 5市町村 7件 H25 6市町村 16件 H26 6市町村 10件	55,580 92,630 90,000
避難農業者一時就農等支援事業 (H24～)	避難先での営農再開に必要な資材等の支援	H24 6市町村 6件 H25 7市町村 7件 H26 4市町村 4件	82,328 31,250 23,500
農業系汚染廃棄物処理事業 (~H26、最終)	放射性物質により汚染された堆肥等の廃棄	5市町村 14件	698,259
ふくしまの恵み安全・安心推進事業 (H24～)	農産物の安全・安心の確保のための検査体制の整備と情報発信を支援 (米全袋検査等)	5市町村 22件	335,899
地域農業経営再開復興支援事業	被災地域において、経営再開マスタープランを作成し、担い手の育成や農地集積等を支援	4市町村 12件	85,887



写真
平成25年度園芸産地復興支援対策事業で
整備した南相馬市のパイプハウス（アス
バラガス）

指導農業士について

指導農業士とは、地域の模範となる優れた農業経営をされている農業者の方を県知事が認定し農業後継者の育成・確保などに当たっていただく制度です。

相馬地方では現在 13 名の方々が指導農業士として活動されており、相馬地方指導農業士会を組織していますのでご紹介いたします。

「指導農業士の方に相談してみたい」または「指導農業士の方の技術や生産物を見てみたい」という方は、相双農林事務所農業振興普及部までご連絡ください。

役 職	氏 名	市(区)町村	経 営 内 容	備 考
会 長	星 宜さん	南相馬市鹿島区	水稲 施設園芸	
副 会 長	根本 修二さん	南相馬市小高区	施設花き 水稲	県指導農業士会役員
事務局長	太田由美子さん	相馬市	施設園芸 水稲	
監 事	日黒 文夫さん	新地町	水稲 野菜	
監 事	武島 竜太さん	相馬市	水稲 野菜	
	大塚ヒロ子さん	南相馬市鹿島区	酪農 水稲	県指導農業士会役員
	井戸川定弘さん	南相馬市小高区	水稲 野菜	
	鳴原 昭二さん	飯館村	水稲 野菜 繁殖牛	
	高野 笑子さん	飯館村	和牛一貫 水稲	
	坂下 耕一さん	相馬市	果樹	新任
	武田 幸俊さん	南相馬市鹿島区	水稲 野菜	新任
	北山 一郎さん	南相馬市鹿島区	水稲 繁殖牛	新任
	堀川 由也さん	南相馬市原町区	水稲 野菜	新任

退任される指導農業士について

右記の方々は平成 25 年度をもって指導農業士を退任されました。

長い間、管内の農業後継者育成に多大な御尽力をいただき、ありがとうございました。

今後とも、管内の農業振興のため、御協力をお願いいたします。

氏 名	市(区)町村	在職年数
伊東敏光さん	相馬市	12年
只野孝一さん	南相馬市鹿島区	12年
福田栄一さん	南相馬市原町区	13年
星 孝雄さん	南相馬市原町区	11年

平成25年産米で放射性物質が基準値を超過した要因解析について

南相馬市における平成 25 年度の実証栽培の結果、27 点が基準値 (100Bq/kg) を超えました。国・県ではその要因を調査してまいりましたが、その結果の概要を紹介します。

<基準値超過の発生地域>

- ・基準値超過は南相馬市原町区旧太田村で限定的に発生していることから、当該地域に特有の要素が影響しているものと推察されます。

<土壌が要因の一つと考えられます>

- ・基準値を超過したほ場では、いずれも吸収抑制対策としてカリ施肥が実施されており、土壌中の交換性カリ含量についても概ね目標水準 (25mg/乾土 100g 以上) でした。
- ・一方、土壌の放射性セシウムを固定する力が比較的弱く、作物に吸収されやすい交換態の放射性セシウムの割合が高いという特徴が見られました。
- ・基準値を超過したほ場の土壌を用いて、稲の幼苗を育てて放射性セシウム吸収試験を行ったところ、他の土壌で栽培した場合と比べて放射性セシウムが多く吸収されていたことから、土壌が基準値超過の要因の一つと考えられます。

<用水の影響は確認されていません>

- ・旧太田村の基準値超過ほ場で利用している太田川を水源とする用水を調査したところ、太田川以北の他の河川と比べて、作物に吸収されやすい溶存態の放射性セシウム濃度がわずかながら高い傾向がみられました。
- ・しかしながら、放射性セシウムが検出されない地下水やため池を水源としたほ場でも、基準値を超過した事例がありました。
- ・また、ポット試験で、太田川から採取した水と水道水を比較して用水の影響を調べたところ有意な差は見られず、現在のところ用水の影響は確認されていません。

<平成 26 年度の放射性セシウムの低減対策と検証>

- ・これまでの調査の結果、土壌の特性が影響していると考えられるため、平成 26 年度は、平成 25 年産米で基準値超過がみられた地域ではゼオライトとカリ肥料による吸収抑制対策の強化を図っています。
- ・また、農業総合センターでは、太田地区において上記の対策で施用量の異なる複数の区を設け、効果的な吸収抑制対策のさらなる検証を行います。



農作業安全に努めましょう!!

- ① 慣れた作業でも過信せず、余裕を持って慎重に作業をしましょう!
- ② 機械は、使用前に必ず点検をしましょう。また、日頃から整備点検を行いましょう。なお、点検時にはエンジンを必ず切りましょう!
- ③ 無理のない計画で、農作業事故防止に努めましょう!



農薬適正使用について

昨年度は県内で農薬事故が相次ぎました。事故防止のため、改めて以下の点に注意して安全な農薬散布を心掛けましょう!

- ① 農薬散布前日までに、周辺住民へ散布時間や方法を事前に連絡し、了承を得ましょう。
- ② 散布前に、農薬のラベルの内容 (農薬名、適用作物等) をしっかりと確認しましょう。
- ③ 散布時は、周辺農作物への飛散防止を徹底しましょう。
- ④ 散布後は、散布実績を正確に記帳し、防除器具も十分に洗浄しましょう。